

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

AI時代には失業者を養う経済モデルが必要だ **ダンビサ・モヨ (国際経済学者)**

- 人工知能 (AI) は人類に火や電気よりも「深遠」な影響を与える。アルファベット (グーグル) のピチャイ最高経営責任者がそう予言したのは今年4月。その影響を正確に見通すのは不可能にしても、とりわけ可能性が高いと思われる変化が2つある。労働需要が減り、生産性が向上するというものだ。言い換えれば私たちは労働を必要としない経済モデルに向かっているといえる。
- ChatGPTのような大規模言語モデル (LLM) を含む、新たな生成AIによる失業リスクに最も直接的にさらされるとみられるのは、事務処理、法律サービス、会計の仕事だ。だが影響は経済の全域に及ぶ公算が大きい。言葉を使った作業は労働時間の62%を占めるため、LLMは全労働時間の40%に影響を及ぼす可能性がある。
- とはいえ、生産性の向上によって経済成長が底上げされたとしても、仕事が減れば経済がむしばまれ、結局は成長が鈍化する可能性は大いにある。人間の仕事の需要が減れば、失業率は跳ね上がる。悪影響は当該企業にとどまらない。投資が減れば、経済全体の成長が損なわれ、経済のパイが縮んで生活水準が低下する。中間層の崩壊が進み、資本家と労働層の格差も広がる。
(参考:「週刊東洋経済」2023年7月8日号)

経営者のための危機管理

倒産の70%超が販売不振

真壁 昭夫 (多摩大学特別招聘教授)

- 中小企業の倒産件数が増加している。中小企業庁によると、22年12月以降、倒産件数の増加率は前年同月比25.5%増の610件だった。うち、70%超が販売不振を理由に倒産した。バブル崩壊後30年以上、日本全体で「現状維持の発想」がまん延している。その結果、企業が能動的に収益分野を拡大し、より高い利益率を達成することがままならなくなっている。
- 米欧で物価は高止まりし、金融引き締めは長引きそう。世界経済は景気後退も懸念されている。それが現実となれば、わが国の経済成長率は停滞し、事業運営に行き詰まる企業は増えるはずだ。そうならないためにも日本企業は稼げる商品を生み出す必要に迫られている。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2023年7月15日・22日号)

ワンポイント経営アドバイス

人材育成の根本に立ち返る

川本 裕子 (人事院総裁)

- 人的資本の強化が課題だ。組織力は個人の力の合体で、21世紀の日本の競争力を決める。日本の社会システムの硬直化が競争力をむしばむ問題意識は共有されている。終身雇用によって人材を開発しているはずだったが、変化への対応が遅れ、経済は停滞から脱却できなくなった。
- そして人事システムを組み替えて内部労働市場を活性化しながら、転職＝外部労働市場の健全な発展を図るべき、という指摘が主流になった。しかし外部の環境は、変化のサイズが増してスピードも上がっている。日本人の競争力を高めるには、人材育成の根本に立ち返る必要があるかもしれない。それは、探究心や創造性、指導力の養成だ。

(参考:「日経ビジネス」2023年7月10日号)

古典に学ぶ

この世界は晴れた日ばかりではない

- 当然のことですが、この世界は晴れた日ばかりではありません。土砂降りの日もあれば、どんよりと曇った夜もあります。厚い雲の上には常に、太陽や月、星が輝いています。
- 人生もそれと同じです。不幸やトラブルに見舞われると「世の中、真っ暗だ」と思いがちですが、必ず助けてくれる相手や活路は存在します。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)